

第 4 回 AWOC・第 13 回 KJWOC 参加報告書

氏名：松嶋瑛奈

所属：石坂研究室（修士 2 年）

滞在期間：平成 28 年 12 月 11 日～12 月 17 日

滞在先：Burapha 大学

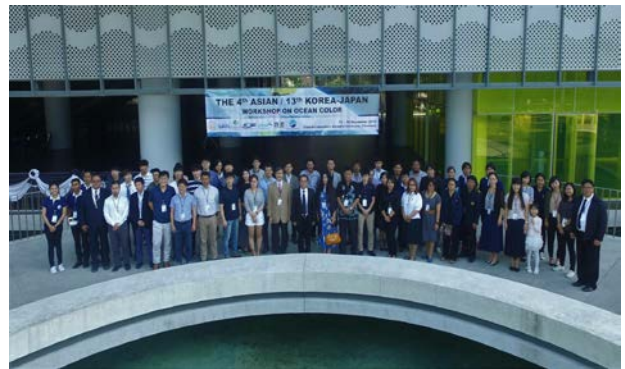
滞在国内：タイ

昨年の 12 月 13 日から 16 日に、タイで開催された The 4th Asian/13th Korea-Japan Workshop on Ocean Color (4th AWOC/13thKJWOC)に自身の研究発表を行いました。この学会は、海色衛星を用いて様々な研究を行っているアジア各国の研究者が集まり、口頭発表とポスターセッションに分かれて各々自身が行っている発表について議論を行いました。そこで私は、「Mechanism for Chl a variability after the passage of typhoons in East China Sea in 2012 by GOCI and JCOPE2」という研究タイトルで 2 日目のポスターセッションで発表を行いました。

私の研究は、世界初の静止衛星 GOCI の海色データと JCOPE2 の再解析データを用いて、台風通過前後の植物プランクトンの変動を解析した結果について報告しました。人工衛星を用いた台風通過前後の植物プランクトンの変動を解析する研究は、人工衛星のみや現場観測のみなど、1 つの手法による解析が主流であり、時間解像度も荒いという問題点がありました。本研究によって衛星データと再解析データを組み合わせて解析することが可能となり、また時間解像度が 1 時間という高い解像度で衛星データを取得することができたので、学会に参加した多くの研究者から興味を持っていただきました。

また、私の研究海域は、東シナ海であるため、特に中国や韓国から参加された研究者たちから多く質問をいただきました。ちょうどこの学会に参加した時期は、修士論文執筆の時期であったため、修士論文を書く上でより良いものにするためのアドバイスも頂けたので、非常に有意義な時間となりました。

自身の発表以外にも、同じ衛星データを用いて解析を行っている研究者の話も聞けたので、さらに自分の研究を深める上で多くの知識を得ることができました。



<指導教員>

石坂丞二